

第1表 鉄道統計の各部門のおもな準拠規程と目的

統計系列	局別	準拠規程および通達	利用目的
人事統計	職員局	人事統計の報告方について(昭和29・4職職第472号) 日本国有鉄道職員賃金規程(昭和27・6総裁達第303号)	職員需給関係と定員現在員予算資料 給与関係資料
	厚生局	国鉄共済組合運営規則(昭和24・2達第70号) 鉄道病院・鉄道診療所および鉄道療養所成績の報告方(昭和24・6総裁達第90号) 業務上傷病者報告規程(昭和25・2総裁達第74号) 日本国有鉄道健康管理規程(昭和26・7総裁達第330号)	共済組合運営資料 直轄医療機関運営資料 災害の予防対策樹立資料 健康管理資料
財務統計	経理局	鉄道会計事務規程(昭和22・4達第175号) 日本国有鉄道固定財産管理規程(昭和27・10総裁達第600号) 日本国有鉄道経済計算規程(昭和28・4総裁達第233号)	収支決算資料 財産関係現況は握資料 経営検討資料
運輸統計		運輸統計事務規程(昭和23・9達第471号) 運輸帳表取扱手続(昭和25・1総裁達第250号)	予算編成・輸送計画・運輸施設資料 収入調定および連絡清算資料
資材統計	資材局	鉄道物品事務規程(昭和26・3総裁達第127号)	基準保有量運用ならびに現品受払は握資料、準備計画
運輸統計	営業局	駅務報告規程(昭和28・3総裁達第134号) 旅客および荷物運送規則同取扱細則(昭和25・5総裁達第354号) 貨物輸送手続(昭和26・5総裁達第258号)	定員査定・予算配付・設備改良・輸送計画・営業方針資料 収入調定および運輸統計資料 輸送計画
運輸統計	運転局	各種動力車および客貨車運転成績・使用成績ならびに乗務員仕業成績報告方の件(昭和28・3総裁達第184号) 国有鉄道運転事故報告規程(昭和24・3達第132号)	運転成績調査および動力費算定調査資料 運転保安調査資料
施設統計	施設局	施設関係統計図表整備心得(昭和27・12総裁達第745号) 線路検査報告規程(昭和28・2総裁達第88号)	予算定員その他計画資料 線路の実態をは握し、線路の保守状態を管理する
電気統計	電気局	電気報告規程(昭和29・10総裁達第601号)	予算・資材・定員査定上および工事その他計画の資料
工作統計	工作局	工場經理規程(昭和24・10総裁達第401号)	技工手の労働状態調査、予算の編成および生産計画資料

れたか判明する資料で、今後の燃料に対する計画資料である。

車両修繕両数 毎月蒸気・電気機関車、客車、電車、貨車別の修繕種別に両数を調査し、修繕に使用する資材の準備計画および検修計画に利用している。

(2) 精算統計

概算統計は迅速に作られる反面、数字の正確を期しがたい点があるので、細密な計画を立てたり基本計画に利用するには適当ではない。このためには正確な統計が必要とされ、各局課において分掌事務事項に応じて提出させる報告内容を審査・集計して、作成した統計を精算統計とよんでいる。精算統計は仕事の性質に応じて多くの種類に分れ、各系統部門によって作られているが、これを分類するとつぎの8系列に分けることができる。

- 1 運輸統計
 - 2 運転統計
 - 3 財務統計
 - 4 資材統計
 - 5 職員統計
 - 6 施設統計
 - 7 工作統計
 - 8 電気統計
- つきに8系列について、鉄

の計画資料とする報告で、材料は各種の収入日報の内容が全国集計されている。

配車日報 発送トン数(ハトホ)、行先別使用車報告(ユクシホ)、在貨トン数報告(ザイカホ)、所要車報告(セイホ)、扱別使用車および到着車報告(アツチホ)、現在車報告(ゲンホ)、発送整備車報告(ハセホ)、貨車出入報告(テリホ)。以上の配車日報は貨物と貨車の状態に関する報告で、配車計画および輸送計画の基本材料として使われるものである。

駅務報告 駅・操車場および信号場における旅客荷物および貨物の輸送・運賃・料金および取扱に関する業務報告で、その業務量によって駅の定員査定、予算配布、設備改良、輸送計画営業方針の参考資料となっている。その内容報告は、30数表の統計項目で、月報および年報として作成されている。

職員異動報告(イトホ) 毎月1回職員の異動および減耗の状況報告で、職員の需給計画の材料となっている。

局別列車走行キロ表 毎日列車の運行状況を機関士の運転報告からは握して、列車の運行計画の資料としている。

主要列車別交通量調査 列車と調査区間を指定し、その列車別・等級別に定員対乗車人員の効率を毎日電話報告し、旅客輸送計画の資料としている。

航路輸送報告 航路別船名別に旅客人員は等級別、貨物は車数およびトン数を毎日電報報告し、航路の輸送計画資料としている。

鉄道用炭入手および消費量 毎月の石炭入手量に対し、運転用・船舶用・発電用・工場用・その他別に、どのくらい消費さ

道統計月・年報に編さんされている統計項目のうちおもなものについて述べる。

ア 運輸統計 国鉄が所管している鉄道・船舶・自動車等によって運送された旅客・荷物および貨物の数量・運賃・料金収入ならびに運送に必要な列車キロ・車両キロの輸送力等の成果を明らかにすると同時に、国鉄における収入予算の編成等その他運輸関係の全般にわたる企画策定など、国鉄経営の基本資料となる各種の統計が作成されている(*運輸統計)。

イ 運転統計 動力車別(蒸気・電気機関車、電車、気動車、特殊動力車)および客貨車別に運転を主体として機関車キロ、換算車両キロを取り、さらにこれに要した燃料、電力、油脂の消費量を動力車別に、運転用と暖房用、その他に区分して示している。(ア) 蒸気・電気機関車運転成績 列車キロ、機関車キロ、換算機関車キロ(牽引[けんいん]列車キロ、補助キロ、単行キロ、入換キロに区分)、換算客貨車キロを示すほか、燃料については石炭消費量を実数量、換算数量、代価に区分され、電気機関車については、電力消費量およびその代価が示されている。

(イ) 電車運転成績 列車キロ、電車キロ、換算電車キロ、電力消費量およびその代価を示す。(ウ) ディーゼル機関車運転成績 列車キロ、機関車キロ、換算客貨車キロ、油脂消費量、その代価に区分する。(エ) 気動車運転成績 列車キロ、気動車キロ、換算気動車キロ、油脂消費量とその代価に区分する。

ウ 財務統計 資産勘定、損益勘定、中間勘定の各科目別収支を示す。

エ 資材統計 調度用品と工事用品に分類され、調度用品を